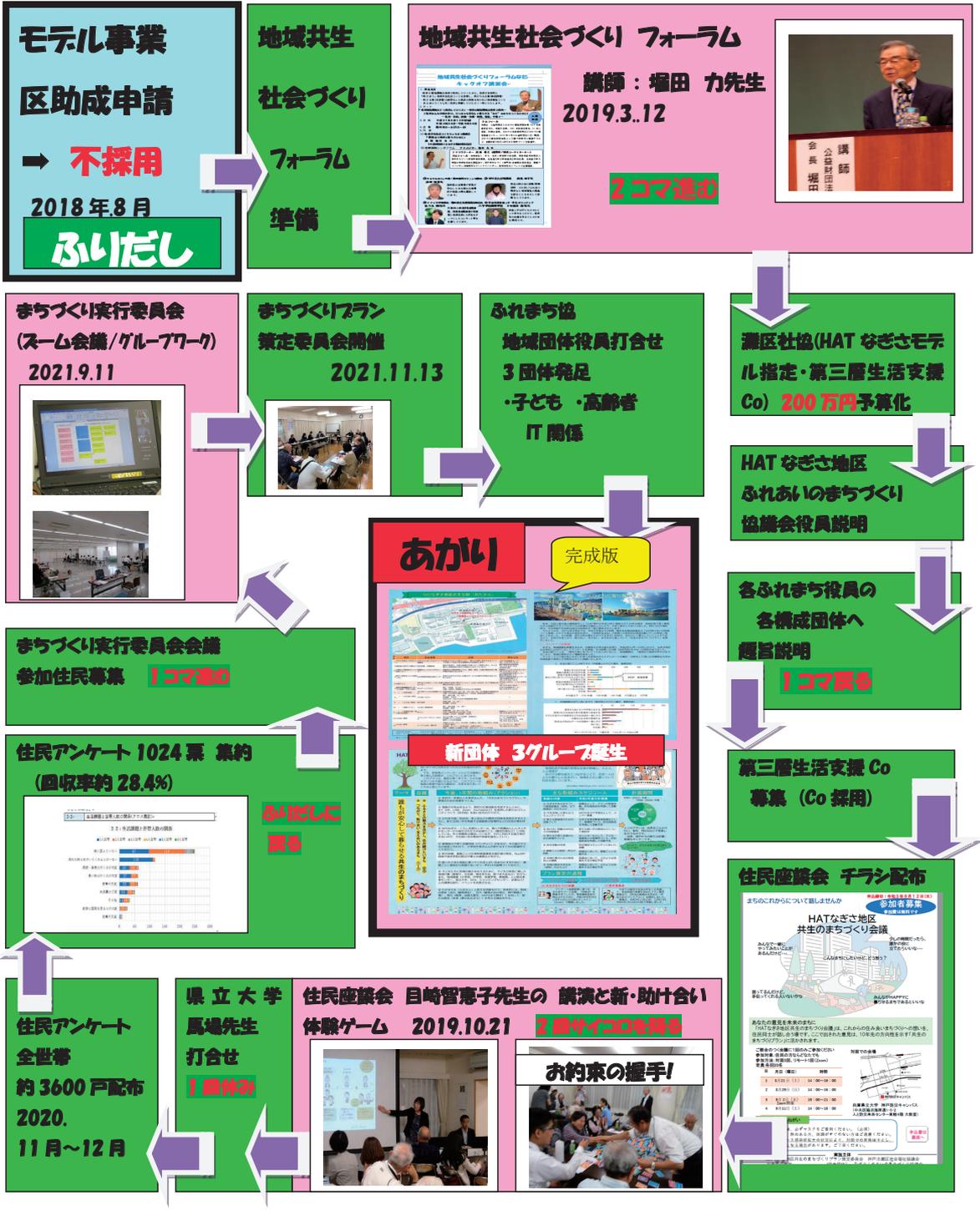


HAT なぎさ地区における「共生のまちづくりプラン」のできるまで

阪神大震災後の復興住宅としてHAT神戸が平成10年にできて24年が過ぎ、生活困窮や社会的な孤立化が懸念されている中、灘区社協の「なだ助け合いの地域づくり事業」のモデル地区として指定し、実践活動プランの作成に取り組んできました。そして、昨年度末に住民が主体となり、「共生のまちづくりプラン」が完成し、そのプランに基づき、新たに地域支援グループが3団体新設され、その経緯についてご説明したいと思います。

HATなぎさ地区「共生のまちづくりプラン」

「なだ助け合いの地域づくり事業」すころく



2 「総合事業」に定める生活支援の助け合いに関する活動」以外の地域共生に関する活動

共生社会を目指す動き